

平成14年度事業報告

14年度県連行事が全て、無事終了できました。

会員の皆様、各協会の皆様の行事執行に対するご理解、ご協力に執行部一同、心より感謝申し上げます。

本年も社会状況の改善が見られず本連盟の執行は一段と厳しさが増してきていると感じられます。

昨シーズンに比べ会員が300人(全体の約5%)程度、減少し組織の縮小に歯止めの掛からない状況が続いております。

そんな中、何とか本年度も黒字の決算を組む事が出来ました。しかし、これには役員一同のかなりの無理と協力があつた事と、来期も同様な状況である事を合わせてご報告申し上げます。

又、14年度シーズンの会員登録数は約6000名で有りました。これは最大7000名以上の会員がいた時に比べ1000名以上の減少となっています。

これ以上、会員が減少し5000名を割る様な状況に陥れば、現在の様なスキー連盟の形態を保つのは無理になるであろうと考えられます。

執行役員、各専門委員、揚げて努力して参りますが各協会、所属クラブの皆様にもご理解ご協力をお願い申し上げます。

教育本部に於いては、減少してきている有資格者と準指導員の受験者増加に努め、昨年同様、他県連との共催行事に一層の努力をして参ります。

競技本部は、スキー連盟の活性化を含め今、最も期待の持てる分野であります。マスターズ等々の新しいニーズを掘り起こし参加者の増加、それを基に会の増加に繋げ増収を図っていきたいと思います。

又、現在総務本部に願っているスノーボードに関する全ての事柄をSAJと同様に教育、競技本部にそれぞれ願っていく方向で検討していきたいと考えます。

総務本部に於いては会員事務サービスの向上、一般管理費の縮小に努めて参ります。

いずれにせよ来期も非常に厳しい一年になると思われませんが執行部一同、力を合わせこれに向かって参りますので一層のご理解と変わらぬお力添えをお願いして、一般経過報告とさせていただきます。